

## 参加者

保健福祉課 介護福祉係係長 笠原様  
総務課 防災・危機管理担当 熊谷様  
保健福祉課地域包括支援センター 檜山様

緑町町内会長 首藤様  
緑町町内会副会長 松木様  
緑町保健福祉部理事 佐藤様  
緑町民生委員（5 区担当） 山田様  
ご家族代表 中島様

## スタッフ

久貴谷 若狭 村谷

久貴谷～お忙しい中、選挙期間中でもありますがお集まりいただきありがとうございます。進行を担当させて頂きます久貴谷です。よろしくお願いします。  
それでは、先程お配りしました配布物に沿って進めさせていただきます。  
確認事項も有りますので役場の方と町内会の方からご返答いただければと思います。

## \*災害時の対応と避難経路について

久貴谷～今回 3 月 11 日に東北大震災がおきて、現在も原発の問題や仮設住宅の不足など、長期化している避難対策が報道されている中で、東北沖でも津波が予測される地域で予測される避難対策や訓練をしている地域でも避難場所とされている場所まで津波に流されてしまっていた事実があり、私自身も南西沖地震の時の避難の経験があり、規模としては小さなものでしたが、実際に目の前で津波に流される様子も見てきており、七飯町でも津波の心配は無いにしても人事と捉えるのではなく、私達、ホームの立場としましても、これから、いつ何が起きるか分からない予測不能な想定外の災害に対しましても、個々がそれぞれ考えていかなければならないと考えております。七飯町で提示している避難場所や避難経路の把握、入居者様の一人ひとりの薬の情報、緊急連絡先などを一冊のファイルにまとめ、いつでも持ち出せるようにしていますが、皆様ご存知の札幌での火災のこともあり、もし火事などで燃えてしまったら分からなくなってしまう事を考えると、他にも保管できる場所があればと思いますが、個人情報の問題もありますので、どのような方法をとっていけば良いのかとも考えています。また、ホームの火災の時

には一時避難場所として緑町会館を使わせてもらうことになると思うのですが、会館が閉鎖されているときは、どちらへ連絡したらよろしいですか。鍵の保管場所など教えて頂きたいのですが？

首藤様～鍵は4つあるのですが、1つは会長の私、1つは管理人、もう1つは会館近くの瓜生さん、あと1つは教育委員会にあります。

久貴谷～ホームから鍵をお借りしたいときはどちらへ連絡したらよろしいですか？役場を通したほうがよろしいですか？

笠原様～役場に電話いただいても良いですが、直接 会長さんに連絡していただいても、こちらから教育委員会に連絡してもいいですよ。

首藤様～私に連絡してもらって良いですよ。瓜生さんって方も避難場所の看板の所ですから一番近いですよ。

久貴谷～管理人さんは会館の近くには住んでいらっしゃるんですか？

首藤様～その人はちょっと離れていますね。

松木様～ちょっとすみません。こちらが避難するとき、会館を使わせてもらいたいから鍵を借りたいというお話ですが、逆にこちらを避難場所に使わせてもらう事もありますよね。そうしますとですね、協定みたいなのを交さないとならないんですよ。いろんなところのホームページなどを見てですね、横浜などもですね、協定をむすんでるんですね。七飯町としてはないんですか？

笠原様～ないですね。

松木様～現実の問題としては、鍵貸して何貸してとなるかもしれませんが、やはり協定を結んでですね・・・

首藤様～まっその話もあれですが、この資料からみると避難場所もですね、緑町も会館と小学校のグラウンドとなっていますが、その辺も確認したほうがいいんじゃないですか？

久貴谷～はい、そうですね。七飯町のホームページから調べさせて頂いたんですが、一般

避難場所と広域避難場所とありますが、その違いを教えてくださいませんか？

熊谷様～一般避難場所は屋根のある場所で建物の中にある場所です。広域避難場所は一時的に多くの人が集まる場所で学校のグラウンドとかですが、広域はとりあえず逃げる、そこから長期で避難する場合は、一般避難場所に移動するという形になります。

首藤様～緑町会館の避難人数を見ると 100 人なんですよ。

熊谷様～100 人は当初一人が膝を折って座って入るスペースなんですね。ですから、そこで横になって寝るというスペースではないんですね。長期化になってくる前の詰め込めるだけ詰め込むという人数になっています。

松木様～会館管理運営会議というのがありまして、「ドーンと災害があつて、その会館に人が非難してきた。どこの誰でも避難してきていいんです、誰でも受け入れて下さい。その後、さっき言われたように割り振りしていくんであつて、とりあえずどこの人でも来ていいんじゃないでしょうか。」という話でした。そこからはどのようにして行くのかという事を、その辺の所を町とも話し合つて決めていければいいんじゃないでしょうか。

熊谷様～この内容の中では何の災害として考えているんですか？

久貴谷様～今はホームの火災の時についての確認をさせていただいていました。災害といっても色々ありますし、七飯町としても、今色々取り組んで内容を決めていると伺いました。

松木様～七飯町としてきちんと決めてもらわないと町内会としても動きづらだろうさ、でもいざ災害がおきて、ここの建物がガタンときたときには、どうぞ会館にいらして下さいとなるが、こっちの建物のほうが頑丈でしょう。

首藤様～避難場所としては会館の場所に町内会として決めたんじゃないなくて児童会館の時から町として看板立ててたんだよね。だから当然として、あそこは避難場所として使って良い場所なんだよね。

松木様～要は使わせてくださいって事なんでしょ。

久貴谷～そうなのですが、連絡場所をどこにすれば良いのか、そこを確認させていただき  
たかったんですよ。4つあるうち、昼も夜も教育委員会に連絡して良いのか、個人  
的にお家に連絡して良いのか。

首藤様～窓口としては町内会として私にしてくれれば良いですが、いなかった時には教育  
委員会の方にでも。

笠原様～はい、その時はこちらに連絡くれれば守衛も24時間いますので緊急の場合ここ  
にも居れないという時は連絡いただければ対応できます。

松木様～そちらからの誰それですよというふうに町内会に連絡する時は、わかるようにし  
てもらったほうが良いのでは？町としての指針だったりとかは、まだちゃんと決  
めてない所だし、そこをしっかりと決めてもらってからでないとね。

佐藤様～そういうのは次回の時にでもね。

中島様～まずは火災が起きた時は、どちらへ連絡して鍵を借りていけば良いのか、そこか  
ら広がっていくんですね。

久貴谷～そうですね。その確認だったんですね。

松木様～町内会としても、その所がわかっていたら急に連絡もらうよりもわかりやすい  
よね。町内会としてもそういう内容を話しておく対応しやすいですね。

首藤様～町内会としても緑町の住民の災害対策として町長さんにも来てもらって話し合い  
の場を持ちたいと思っていました。駒ヶ岳の防災の話し合いに参加したが、大沼  
地区の人と峠よりこっちの人との意識の違いを感じた。具体的にどう動けるか対  
策を練っていかなければならない。

久貴谷～地震だけでなく噴火もありますから考えていかなければならないですよ。

松木様～市内の方まで噴火の火山灰が飛んだってんだから、海拔だってね緑町にも書かれ  
ているんだから。

首藤様～あその川だってね、逆流してね、氾濫する恐れだってあるよね。平野になっ  
てるからね、そういう心配もあるよね。役場としてもせっかく来て頂いてるんだか

ら、そうゆう話しをして頂ければ？

熊谷様～まず私としては、今日何を主題としてやりたいのか、見えないのですが…ここハッピードウナンさんはまだ建って新しいですね？

久貴谷～7・8年目になります。

熊谷様～そうするとここは耐震構造的には一番この辺では安心して良い建物なんです。ですから、地震については非常に災害を受けるというのは少ない所なんです。ですから、その事についてはあまり心配する必要はないです。逆に他から避難する人を受け入れる場合があるというふうに私は考えています。あとは、内部的に南西沖で震度 7 でしたが、そうゆうときにテレビが飛んでくる冷蔵庫が飛んでくるという事がありますから、そういった危険性が無いか、固定などできる様な事をする。活断層から考えられるのは、峠下震度 6 程度だが、しっかりとそういった対策がとられていれば、大きな被害は無いのではないかと思います。あと、火災になった時には自力で動ける人は何人いるのか、支援を必要とする人は何人いるのか、夜間常駐しているしている人間は何人いるのか、そういった状況を搾り出して、自分達で出来る事は何なのか、それを表にして出してみると良いのではないか、そのうえで、どうしても支援を受けなければならないということがわかれば、いざ役場に連絡しても、すぐに役場の人間が駆けつけれるということでもないので地域住民と町内会との協定なりなんなりを結んで何かあった場合には車椅子を押して下さいねというような、そうゆう繋がりを持っていたほうが、この施設としては安心なのではないか。火災であれば会館に逃げるまでに車は使えるか？車が無理なら徒歩で行く、そうゆうときに道路の状況は？実際に車椅子に乗って避難場所の会館まで行ってみる、危険箇所は無いか？そういった事を地道に取り組んで、どこを通ったら安全に行ける避難経路なのか、そういった事をやっていくことが自分達の自助努力なんではないか。町としても災害計画として福祉の方とも一緒に取り組んでいかなければならないところでもある。要援護者の避難の仕方、ここにも資料があるんですが（ホームで配布したもの）ほぼ同じ内容の雛型が作られると思います。

久貴谷～はい、その話しを次にもっていきかけたんです。その前の段階だったんです今は…

熊谷様～私の私案なんですけど、こういった形の物を福祉さんに投げかけて福祉さんと話し合ってどういう方向で障害要援護者を避難させていくかと、避難場所、避難区域、

地域さんとの連携、そういったものを含んでデータとして情報として管理していくか、そこまで持っていく今途中の段階なんです。

松木様～今取り組んでいる最中なんですね。それができればね。

久貴谷～はい、地域住民も施設の私達も安心できますね。地域防災計画についても自分のわからない部分があったので色々な地域のホームページなどを調べながら、今お手元にある洞爺の資料なんです、多分同じ物を同じ雛形で七飯町も作っていくんだろうという事は思っていたんです。

熊谷様～平成 18 年にガイドラインというのがつくられまして、それに沿って作りなさいよという事になっているんですが、本来、担当が福祉部になっていまして、私も昨年この防災担当として来たんですが、それまでは無かったので、これから福祉さんと話し合いながらこういったものを作り上げていこうと思っているところです。なので、そういったところは私達の方がちょっと遅れているので申し訳ないと思っています。

松木様～町内会としても、まだ打ち出されていないものがあつたとしても、人道支援として火災が起きた時などは力を貸しますから。

首藤様～避難訓練もやっていますからデータとしては出てますよね。

久貴谷～避難した時は会館の鍵は昼間は教育委員会へ、夜間は町内会長さんへでよろしいですね？

松木様～会長に連絡つかなくても私達でも他の鍵のある場所が分かっているから大丈夫ですよ。それさえ、確認できていれば良いんじゃないですか？今日のところは。

首藤様～夜なんかは職員だけでは大変だから、車椅子なんかは押さなきゃなんないしね。

久貴谷～夜中に「火事なんで助けて下さい！」って電話したら失礼なんじゃないかと思っ  
て…

松木様～夜中であっても何でもね、皆で連絡取り合ってやっていかなきゃなんないよね。  
今、ここでお互いに確認できたから良かったんでないかい。

久貴谷～はい、ありがとうございます。

松木様～逆の場合もあるからね、こちらからお願いする場合もあるかもしれませんからね。そのためにも協定書って必要になってくるんですよね。ただね、そういったもの町としてやるとかなるから時間もかかるから、今、会長ともね、ここでそうなった場合はお互いにと分かり合ってれば良いでしょ。

山田様・佐藤様～そうですね。会長がわかっているれば、はい、いいと思います。

久貴谷～次に避難場所についてなんですが、緑町の会館は先程の話で、膝を折って 100 人収容ということなので、もし、地震などで地域の人が全員避難した場合は入りきらないのでは？ある地域では何丁目毎に分けて決められているところも合っているのですが。

松木様～何処というのではなく一番近い場所に行けば良いのではないかな。

熊谷様～町としては打ち出しているが、特段決められているわけではない。というのは、どこにどういう人がいるのかわからない。この町の人と限るのではなく人は移動して歩くので一番近い避難場所に逃げるという考えで、その後は行政がここの避難場所は人が少ないよとか把握をして移動等を要請していくので大丈夫です。ここに書いてあるのは暫定的にとりあえず逃げて誰かと連絡取るための手段を決めておいてくださいという事です。

松木様～避難場所の 1 日目の仕事は、とにかく逃げてきた人の名前の確認と年齢等の把握で 100 人のところ 150 人が集まったとしたら、あとは行政のほうを考える事だから、あなた達が心配す事は無い。

笠原様～100 人避難するような災害だったら、逆にこっちの建物の方が大丈夫だから、こっちに来る人の方が多いかもしれませんよ。

久貴谷～はい、わかりました。町内会とお互いに話し合って、分かり合っているのとそうでないのとでは違うので確かめる事が出来て良かったです。

若狭 ～運営推進会議という形で、緑町に福祉施設として運営していく中で、町内会の方達と役場の方とどう繋がっていけるのか、防災管理者として、これからどう取り組んでいくか、一歩ずつお互いに疑問なく地域と一体になって考えていけたと思

っています。

久貴谷～これからも回数を重ねる毎に、しっかりしたものを話し合っていければとおもっています。

若狭 ～700 ページにも及ぶ防災計画と言うものが出来たとしても、実際に地域住民に浸透仕切れていないのが現状、そういった意味も含めて定期的にこういった話し合いの場をもてたらいいと思っています。

首藤様～会館の耐震調査も学校とかが優先になるのかもしれないが、早めをお願いしたい。中には鉄骨が入っているから大丈夫なんだろうけど、壁などにひびが入ってきて、そういう課題もある。ここは、それ以上に新しいから大丈夫なんだろうけど。

若狭 ～うちの建物も震度 7 などの耐震があるか分からないですから、何ともいえません。

佐藤様～ここでも心配だったら、会館だったらもっとね。

松木様～ここでは避難場所と避難経路ということは、そちらとしては確認できたということですね。

首藤様～町へ道路の歩道が無いので 6m の歩道を作ってほしいと要請してるんですよ。

久貴谷～もう 1 つ確認なんですけど、先程触れました個別の避難申請の書類的なものは出来るんでしょうか？

熊谷様～その辺も、福祉さんと合わせて考えていくところですが、平成 18 年のガイドラインに沿って、雛形的なものにはできています。ただし、個人情報などの問題も有りますから、こちらのような施設さんですとか、社協さんですとか関係機関とすり合わせをして、どこまでやっていけるのかという事も話しあっていきたい。

久貴谷～わかりました、ありがとうございます。

熊谷様～こちらでは避難訓練はどのくらいやっていますか？

首藤様～年 2 回です。



熊谷様～私はこちらで避難訓練をやっているのを知らなかったの、どうゆう内容でやっているのか周知していなかったの、防火管理者が立てた想定に乗っ取って行われていると思いますが、こんな不具合があったとかありましたか？

若狭 ～地域の方にも参加して頂き、スモークマシーンを使って、消防の立会いの元、夜間想定で一人の職員対応でどこまで出来るのかと行っています。家族の方にも来ていただいたが三種三様で「うちのお婆ちゃんはいいからスタッフの人は逃げて」と言われる方もいました。今月も 28 日の午後 2 時から夜間想定で行いますが、これからも起こり得るであろう、いろんな角度からの想定で取り組んでいきたいと考えています。実際に緑町会館まで利用者様の足で歩いたらどのくらいの時間が掛かるのかとか、いつもは車で行く花見の場所まで歩いていって見て、どれだけ体力があるのかとか、実践で行っていこうと考えています。

首藤様～この前の訓練で、外で待機していたけれども、暖かい時期と寒い時期でも変わってくるよね。

中島様～私としてもスタッフさん一人では全員を助けるというのは、殆んど無理なことだと思えます。私はスタッフさんに逃げてくださいと言った方ほうですね。

松木様～ここの建物は本当に良いですから、それにスプリンクラーも付いたみたいですし。

\*スプリンクラー設置完了のお知らせ

久貴谷～はい、この度 ショートステイは道の グループホームは町の協力をいただき、無事にスプリンクラーの設置が完了いたしました。業者の池田暖房さんの工事にて先日取り扱いの説明もうけました。避難訓練の時に皆様にもご説明できればと思っています。火事は起こさない事が前提ですが、火災が発生した際には必ず助かるというものではありません。やはり、何かあった際には町内会や町民の皆様の協力が必要になってくると思いますので宜しくお願いします。

首藤様～もちろん協力しますよ。

北口様～夜勤者の方にも、これが付いたおかげで精神的にいくらか安心できたのではないかと思います。

久貴谷～私達ももっと、防災意識を常に持ち予防を心掛けていかなければならないと感じ

ていますし、町内でも何かあれば支援協力していきたいと考えています。町内とホームとの協力体制について今後も考えていくためにも、町の防災計画や避難経路を明確にするために早急をお願いしたいと思います。東北で起きた地震は他人事でなく、身近に起こり得る事として事前の準備が必要と実感しています。お時間となりましたので、これで運営推進会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。